



くくう...  
余としたことが  
不覚であった...

早く  
振りほどかないと...

こやつら  
身体  
なんて  
こんなに  
スルヌルして...

アハ

アハ

アハ

アハ

アハ

アハハ



ふ、服の中に  
触手を入れるなあ…

魔物の分際で  
余の胸を  
弄るでない…っ

や、やめ…っ  
イホイボをそんなに  
擦りつけるな…

んっ

グミ  
グミ

アムッ

アムッ

アムッ

んっ



アハ

ぬ、  
脱がしちゃ...

はあ...

はあ...

はあ...

アハハ

み、皆が見てる...  
触手に弄られて  
ベトベトになった  
余の胸を...

余は乳首  
勃たせてなどいないっ  
見るなあ...っ

こ、こいつ…  
皆に見せつける  
みたい…

アッ

あん…

アッ

アッ

余とまぐわって  
つもりなのか…?

余は貴様で  
感じてなどいない…っ  
はなせえ…

アッ

アッ

アッ





はっ...

べん

あっ...

モッ

ち、乳首  
引っ張っちゃ...

ぐい

べん

やああ...

す、  
吸い付くなあつ

それやめ...っ  
乳首取れちゃう...っ

ぐい

ぐい

べん



み、皆が見てる...  
触手に辱められる  
余の姿を...

こ、こいつ  
余の反応を  
楽しんでおる...

余はなんて声を  
出してるんだ...  
これじゃ余計に...

アム

アム

アム

あ〜

あ〜

あ〜

ん〜

ん〜

ん〜

ん〜

ん〜

ん〜

ん〜

ん〜

ん〜



アム

ぐい

あゝ

あゝ

そ、そこは……

ぐい

あゝ

そんな  
ゴツゴツした触手で  
直接触っちゃ……

よ、余は  
濡れてなど……  
こいつのヌルヌルが……

アム

?!?

アム

アム

アム

アム



んんん

んんん

んんん

ズッ

入ってる...

んんん

ズッ

や、やめろ...  
やめて...っ

太すぎるっ...

ズッ  
ズッ

ズッ  
ズッ





あゝ  
あゝ

あゝ

べんべん

イクッ  
イッちやうう

あゝあゝ

アハハハ

ズ  
ズ  
ズ

べんべん

イッてるのに...  
動くなあ

わゝ

もう  
わゝ

見てないで  
誰か助け...

ズ

ズ

ズ

ズ

もう抵抗する  
力が入らな…

前も後ろも  
こんなに太い触手を  
受け入れてしまっている

余はあと  
どれくらいこいつに  
犯され続けるのだ…



アハハ

んんん

ぐん

アハハ

んん

アハハ

ぐん

しゃほ♡

しゃほ♡

しゃほ♡





















